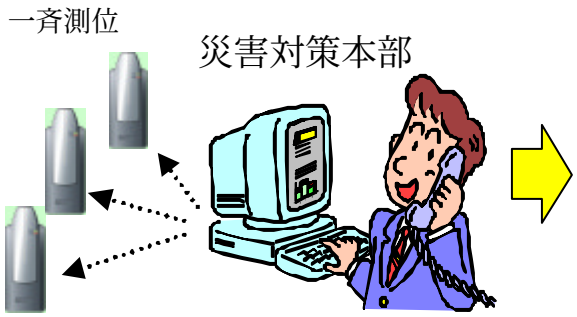
1-6 ココセコムの応用例

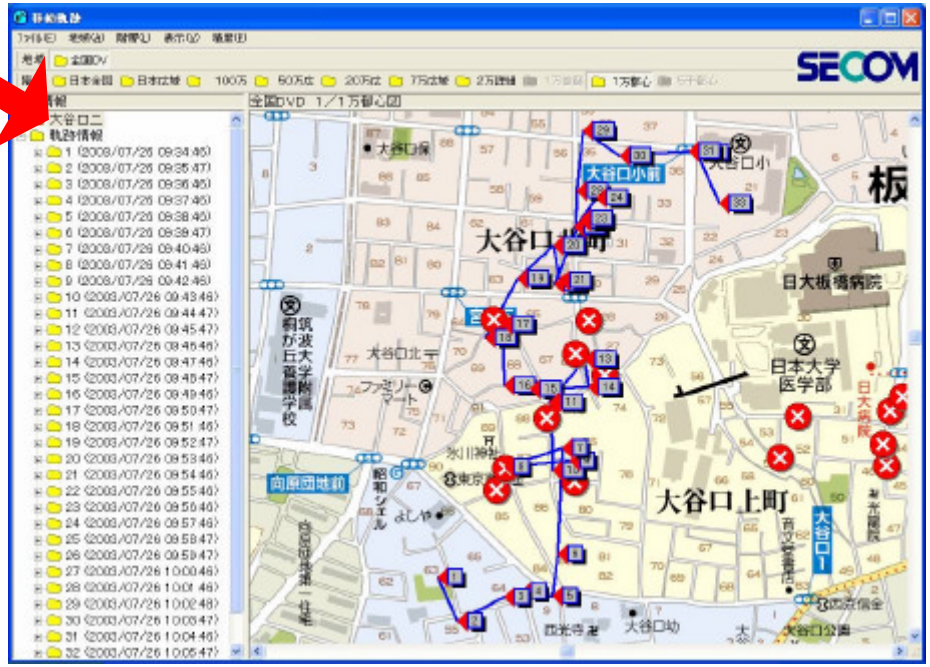
ココセコム G-manager

■ 地方自治体での総合防災訓練 避難訓練）

災害対策本部で統括して避難者の位置情報を管理。

- ●ある対象者の 移動軌跡表示
- ●ある対象群の一斉表示
- ●特定エリア内在者の一斉表示





1 → 2 → 3 ・・・と 障害物 ⊗ を避けて移動

1-7 ココセコムの来歴と実績

■来歴

２００１．０４．０１	ココセコムサービス開始（人・車・バイク）
０５．０１	カーアラームサービス開始
１２．０１	ココセコムＥＺサービス開始（携帯電話利用）
２００２．０１．２８	物品・貨物用サービス開始
０４．０１	ココセコムグループマネージャーサービス開始
１０．２１	ココセコム対応カーナビ販売開始
１２．０１	建機アラームサービス開始
２００３．０３．２６	通報サービス開始
０４．２２	ココセコム－ｉサービス開始（携帯電話利用）
０６．２４	[新型端末]ペット用サービス開始
０７．２３	[新型端末]人用サービス開始
０８．１１	[新型端末]電動自転車用サービス開始

■契約実績（２００３．０９末）

契約数 約１８万８，０００件

構成比

人	４８％
車	４４％
バイク	６％
その他	２％

■サービス提供実績（２００３．０９末）

位置情報提供

インターネット	約４万回／１日
電話問い合わせ	約３００回／１日

捜索・盗難発見事例

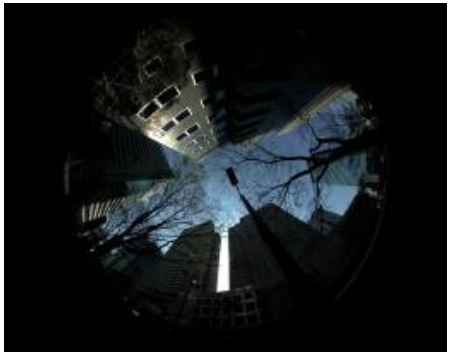
累計	約１，６００事例

⇨ 累計 約１，９００万回

2 衛星利用における問題点

2-1 GPS衛星捕捉数が少ない場合の測位

携帯電話基地局との補完により測位は可能。
しかし、精度はGPS衛星のみで測位した場合より劣る。

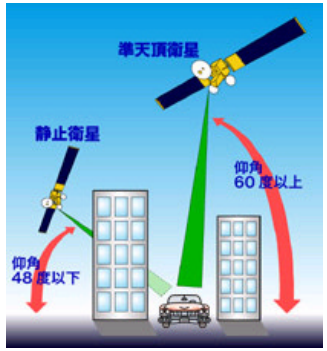
オープンスカイ	市街地	ビル街
		
[A] GPS衛星のみ	[A] GPS衛星のみ　又は [B] GPS衛星+携帯電話基地局	[B] GPS衛星+携帯電話基地局 又は　[C] 携帯電話基地局のみ

2-2 GPS衛星捕捉が不可能な場合の測位（トンネル内・地下街など）

3. 要望事項

3-1 準天頂衛星システムの早期実現

ビルなどの障害物の影響を少なくすることが可能。
＝　測位精度の向上が期待される



3-2 GPS衛星捕捉が不可能な場所での測位インフラの整備

トンネル内・地下街などのGPS衛星からの電波が届かないエリアにおけるシームレスなサービス提供が可能。
●小型携帯電話基地局・中継装置
●無線LANアクセスポイント　　など